

# GT-SPACER/T10 LEXUS LS460&600

## GT-SPACER/T10/T15/T20

### GT-SPACER/T10/T15 86/BRZ

- 取付け作業を始める前に、必ず取扱説明書をご覧になり、内容をご確認の上作業を始めてください。
- 取付け作業前に、部品内容表によりパーツの内容をご確認下さい。
- この製品及び付属品は、改良の為予告無く変更する場合があります。
- この説明書は製品取付け後も大切に保管して下さい。

#### 部品内容表

商品名とプレートの入数	ハブボルトの種類	ハブボルトの仕様と入数	ナットの種類と入数	付属品
レクサス GT-スぺーサー T10/2枚入り	M14ロングボルト	圧入タイプ 10本入り	なし	なし
GTスぺーサーT10/T15/T20/2枚入り	ローレット径φ12/13/14 M12/P1.5/P1.25	圧入タイプ 4H-8本入り/5H-10本入り	なし	なし
86 BRZ GTスぺーサーT10/T15/2枚入り	特殊加工20mmロングボルト M12/P1.25/φ14.4	圧入タイプ 10本入り	なし	なし

#### 注意事項

#### 警告

- 製品装着の際には、必ずトルクレンチを使用して確実に締め付けて下さい。【規定トルク=10~12kg-m】
- 運転前、運転後に必ず増し締め（締め付け確認）を行って下さい。
- 装着前に必ず取付け面をワイヤーブラシ等で砂、ゴミ、錆等を落としてから装着して下さい。
- 純正スタッドボルトの長さ及びスぺーサーの厚みによって、純正スタッドボルトがスぺーサーの表面より突出する場合があります。ほんの少しでも突出している場合、ホイール裏面に逃げが無いホイールは絶対に使用しないで下さい。
- 逃げのあるタイプのホイールでも純正スタッドボルトを十分に逃がす深さが無い場合はご使用になれません。ホイールによっては逃げる部分に刻印等が浮き出ている物もありますのでご注意ください。
- 走行中に異常な音又は振動及び異常な挙動を感じた場合は、速やかに安全な場所に停車し、車両及びスぺーサーを点検して下さい。また、その場で異常を発見できなかった場合でも、速やかに車両の使用を中止し、専門店へ点検を依頼して下さい。※点検・検査費用は、お客様でご負担下さい。
- タイヤホイールに強い衝撃を受けた場合、スぺーサーに無理な力が掛かり、そのまま使用すると破損等を起こし、事故につながる恐れがある為、その製品は絶対に使用しないで下さい。再使用する場合、必ず当社に検査をご依頼下さい。※検査依頼の発送費用は誠に勝手ながら、お客様でご負担下さい。また検査費用は有償の場合があります。詳細は当社までご相談下さい。
- スぺーサーに圧入されているスタッドボルトを交換する場合は、ボルト穴の中にある削り粉を完全に除去し、洗浄後にプレス機を用いて圧入して下さい。また、ホイール装着時には、トルクレンチを用いて15kg-mまで締め込み、一度ゆるめた後に再び規定トルク（10~12kg-m）で締め付けて下さい。※スタッドボルトの交換は当社でも受付けております。
- スぺーサーの厚みやホイールのオフセット等によって、車両に装着不可能な（フェンダーより突出する・タイヤハウスに接触する）場合がありますので、必ずご確認の上ご使用下さい。
- スチールホイールは取付け面が平面でない為、ご使用になれません。
- 本製品は、軸重が1500kgを超える車両にはご使用になれません。
- ボルトはめ込み式スぺーサーのボルト取付け穴とボルトは、必ず精円形状を合わせて取付けて下さい
- ご使用になるホイールナットが袋ナットの場合、締め付けの際にスタッドボルトが袋部分に接触し、完全に締め付けられない場合がありますので必ずご確認下さい。また、その場合は、市販の貫通ナットをご使用下さい。
- 車両によって、ブレーキローター表面にビスが突出している場合があります。その場合はビスを取外しても問題ないかを確認の上、問題ない場合はビスを取外してご使用下さい。
- 本製品は、ディスクブレーキ車専用設計されております。
- ドラムブレーキの車両には使用しないで下さい。また、ディスクブレーキ車の場合でも、取付け面に凹凸がある場合はご使用になれません。
- テーパーナットを逆さに取付けしないで下さい。
- 当社以外のスぺーサーと組み合わせてのご使用はおやめください。

#### 注意

- 本製品は競技専用部品の為、一般公道での使用は絶対に行わないで下さい。また、クレーム、返品には応じかねます。
- 取付け、取扱い上の誤り、または不当な改造を施している車両へ取付けた場合の故障及び破損については、一切保証致しません。あらかじめご了承ください。
- ワイドレッドスぺーサーアジャスタブルスぺーサー、PCDチェンジャー（除く10mm）の取付け時には、外径が28mm以下の平径21mmソケットレンチをご使用下さい。
- ホイールやスぺーサーの取外しにインパクトレンチを使用しないで下さい。破損の原因となります。また、取付けは必ずトルクレンチを用いて、角線の順序で2~3回に分けて規定トルク（10~12kg-m）で締め付けて下さい。
- T10、PCDチェンジャーT10に付属のフラワーナット及び工具は、最大締め付けトルクが18.8kg-m以下に設定されています。規定トルク（10~12kg-m）以上のトルクで締め付けたり、誤った使用をすると破損しますのでご注意ください。
- 必ずトルクレンチを用いて規定トルク（10~12kg-m）で締め付けて下さい。※インパクトレンチやクロスレンチは絶対に使用しないで下さい。
- フラワーナット締め付け工具は、差込部が9.5mmのトルクレンチをご使用下さい。差込部が12.7mmのトルクレンチを使用する場合は、凸9.5mm凹12.7mmの変換アダプターが必要になります。
- 純正ボルトがスぺーサー表面より1.6mm以上突出する場合は、突出量が1.6mm未満になるようにボルトを削って下さい。
- スライドドアの車両に取付ける際、スライドドアが開閉しなくなる場合がありますのでタイヤのはみ出しに注意して下さい。
- トヨタ純正アルミホイールの場合、純正ホイールナットがテーパー形状になっておりませんので、装着の際に確実にセンターを出さないとハンドルぶれの原因となります。
- また、テーパー形状の物でも確実にセンターを出さないとハンドルぶれの原因となります。※オプションのハブセンターカラーをご使用頂くことと確実な取付けが可能です。

#### 取付方法



#### 1取付けの前に

- 車両を確実にジャッキアップし、ホイールを外します。
- ブレーキキャリパー、ローターを取外します。
- 各車両の整備要領書を参考にしてください。
- 取付け面をワイヤーブラシやサンドペーパーなどを用いて清掃します。
- 取付け面の砂、ゴミ、錆などを落とさずに装着しますとプレート面の歪みやガタ等が発生しホイールが脱落する恐れがあります。



#### 2ハブボルトの交換

- 純正ハブボルトを取外します。
- 各車両の整備要領書を参考にしてください。
- ハブボルトにワッシャーを通し、不要なスチールナット（サイズを間違えないように注意）を締め付けながらハブボルトを確実に圧入します。
- ハブボルト折損やネジ部の焼付きを防止する為、潤滑油を十分に塗布しながら行って下さい。
- ハブボルトが確実に圧入されていないと、ナットの緩みやボルトの折損の原因になりホイールが脱落する恐れがあります。
- ブレーキキャリパー、ローターを取付けます。
- \*取付け方、締め付けトルクは、各車両の整備要領書を参考にしてください。
- 取付け面が平面である事を確認の上、プレートを取付けます。
- ビス等の突出物がある場合は、除去しても問題ないか確認してから除去して下さい。



#### 3ホイールの固定

- ホイールを取付け、ホイールナットを手で均等に締めます。
- ネジの焼付きを防止する為、必ず手で締めて下さい。
- ホイールを回転させ位置を変えながら、レンチを用いてホイールナットを仮締めします。
- 車両を降ろし、必ずトルクレンチを用いて規定トルクで締め付けます。
- 規定トルク（10~12kg-m）
- 締め付けは必ず対角順に行ってください。
- 車両を前後させ、規定トルクで再度増し締めをします。